

# 2016年12月期 第1四半期決算説明会



**ヤマハ発動機株式会社**  
2016年5月11日  
(証券コード:7272)

# 本日も説明する内容

## 2016年12月期 第1四半期決算

上席執行役員 墨岡 良一

- 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

## ■ 第1四半期

**売上高 3,829億円、営業利益 323億円、当期純利益 207億円** ※

### 新興国二輪車事業:

高価格商品の販売増加・コストダウンによる収益性改善が続き、  
通貨安影響を吸収する。

### 先進国事業:

- ・二輪車: 新商品投入時期の影響・流通在庫圧縮による販売減少、  
および円高影響により減収・減益。
- ・マリン: 北米・欧州で好調な販売続くが、円高影響によりやや減益。
- ・特機: 商品ラインナップ拡充により、増収・増益。

## ■ 第2四半期以降

新興国の更なる収益性改善、先進国の円高対策を進める。

- 1Q: 新興国では収益性改善が進み、先進国では円高影響を受ける。
- 2Q以降: 新興国の更なる収益性改善、先進国の円高対策を進める。

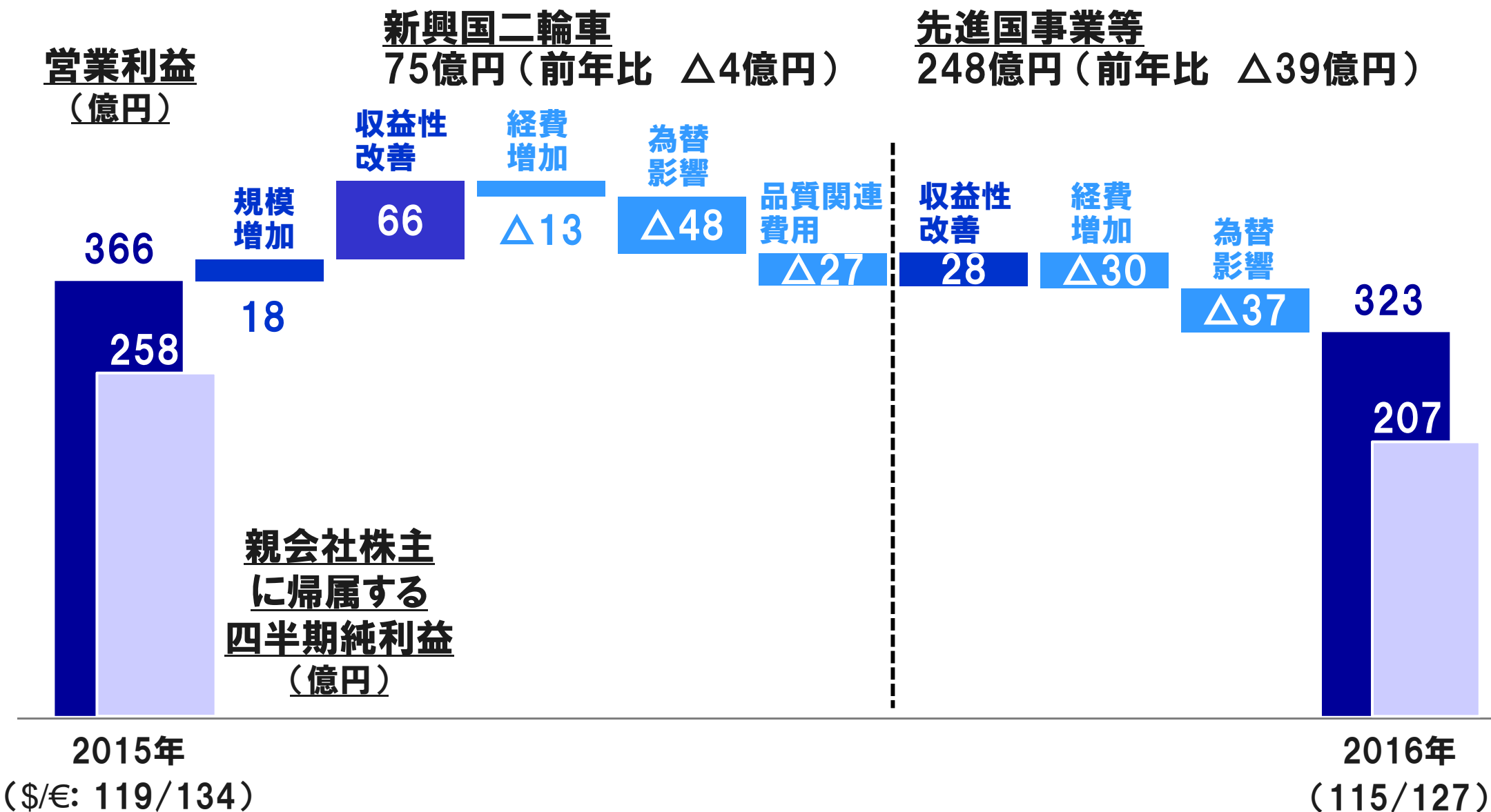
(億円)

	15年1Q※	16年1Q	前年比	16年予想
売上高	3,897	3,829	98%	17,000
営業利益	366	323	88%	1,200
営業利益率	9.4%	8.4%	△1.0pt	7.1%
経常利益	361	281	78%	1,250
親会社株主に帰属する 四半期純利益	258	207	80%	800
EPS	74	59	△15	229
(\$/€)	(119/134)	(115/127)	—	(117/127)

※ 前年: 販売金融関連 収益・費用組替え後

# 営業利益変動要因

- 新興国：収益性改善が進む。(2Q以降、通貨安影響減少の見込み)
- 先進国：円高影響を受ける。

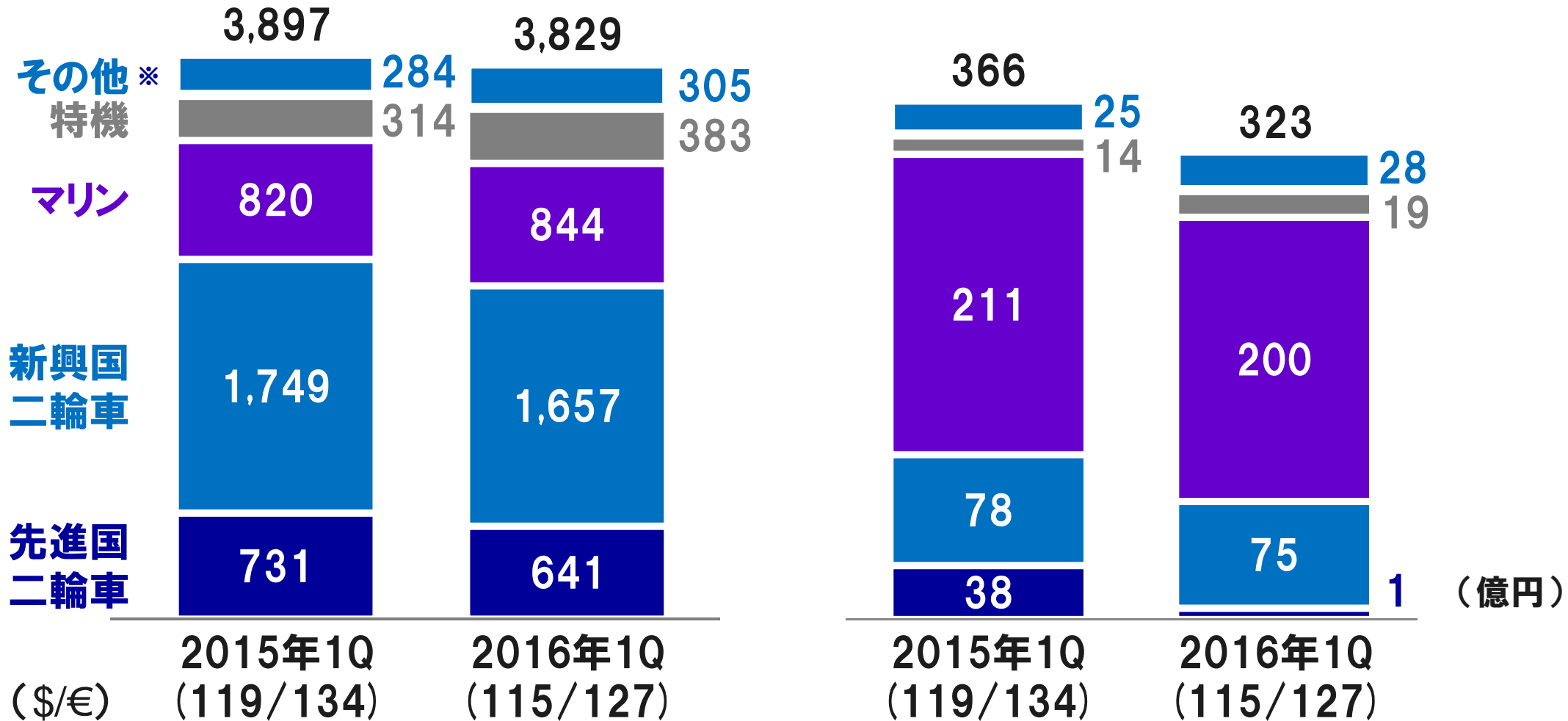


# 事業別 売上高・営業利益

- 二輪車：新興国は前年並みの利益、先進国は黒字を維持する。
- マリン：円高影響もあり、やや減益となる。
- 特機・その他：増収・増益となる。

## 売上高

## 営業利益



※ その他：産業用機械・ロボット含む

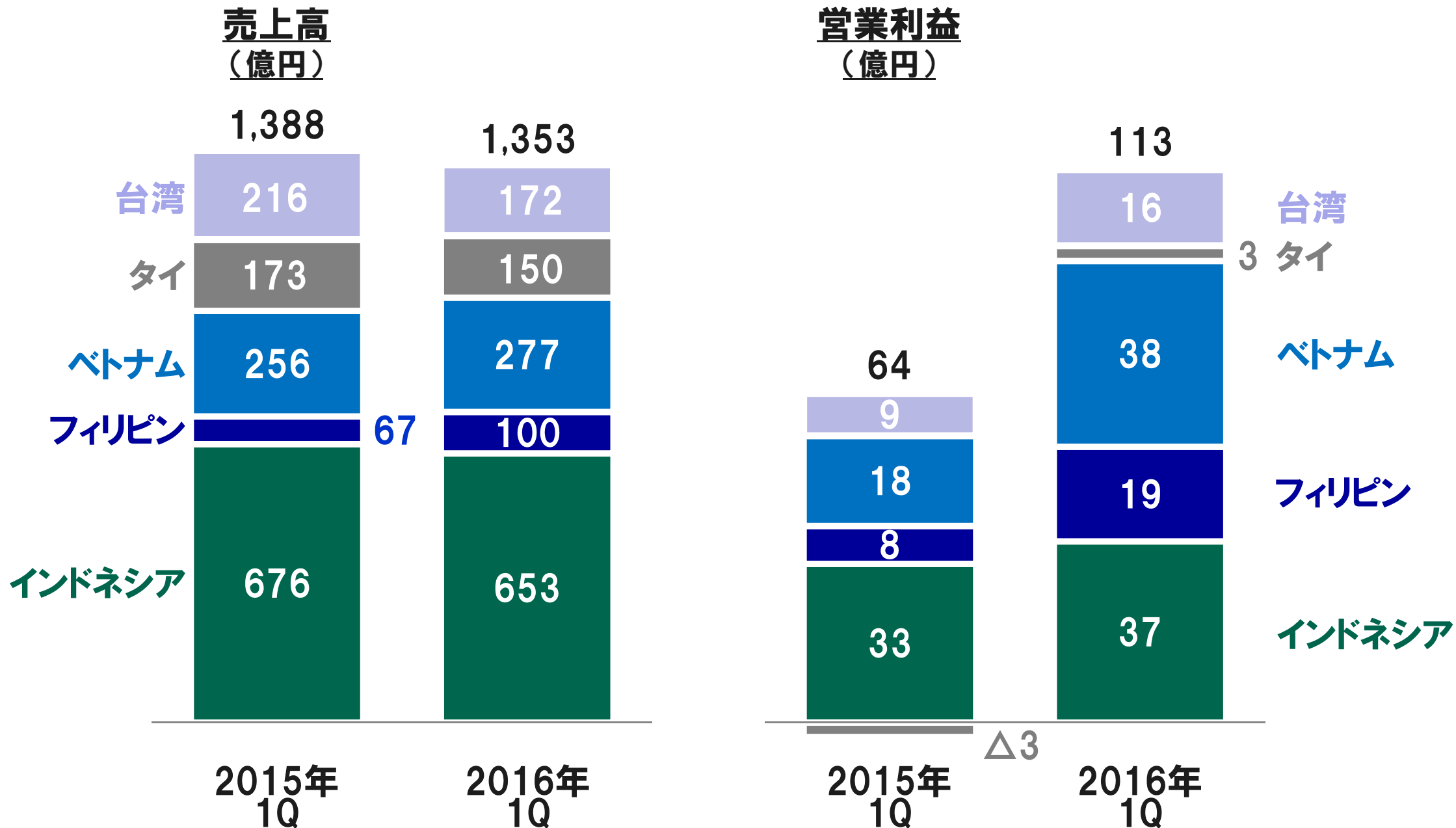
# 二輪車事業：（アセアン・台湾）



- 1Q：高価格商品の販売増加・コストダウンにより、収益性改善進む。
- 2Q以降：新商品投入および更なる収益性改善を進める。

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)



# 二輪車事業：（先進国）

- 1Q：新商品投入時期の影響・流通在庫圧縮により、売上減少となる。
- 2Q以降：プラットフォーム新商品投入を進め、売上拡大を図る。

売上高  
(億円)

731

37

641

36

392

347

191

153

111

106

2015年  
1Q

2016年  
1Q



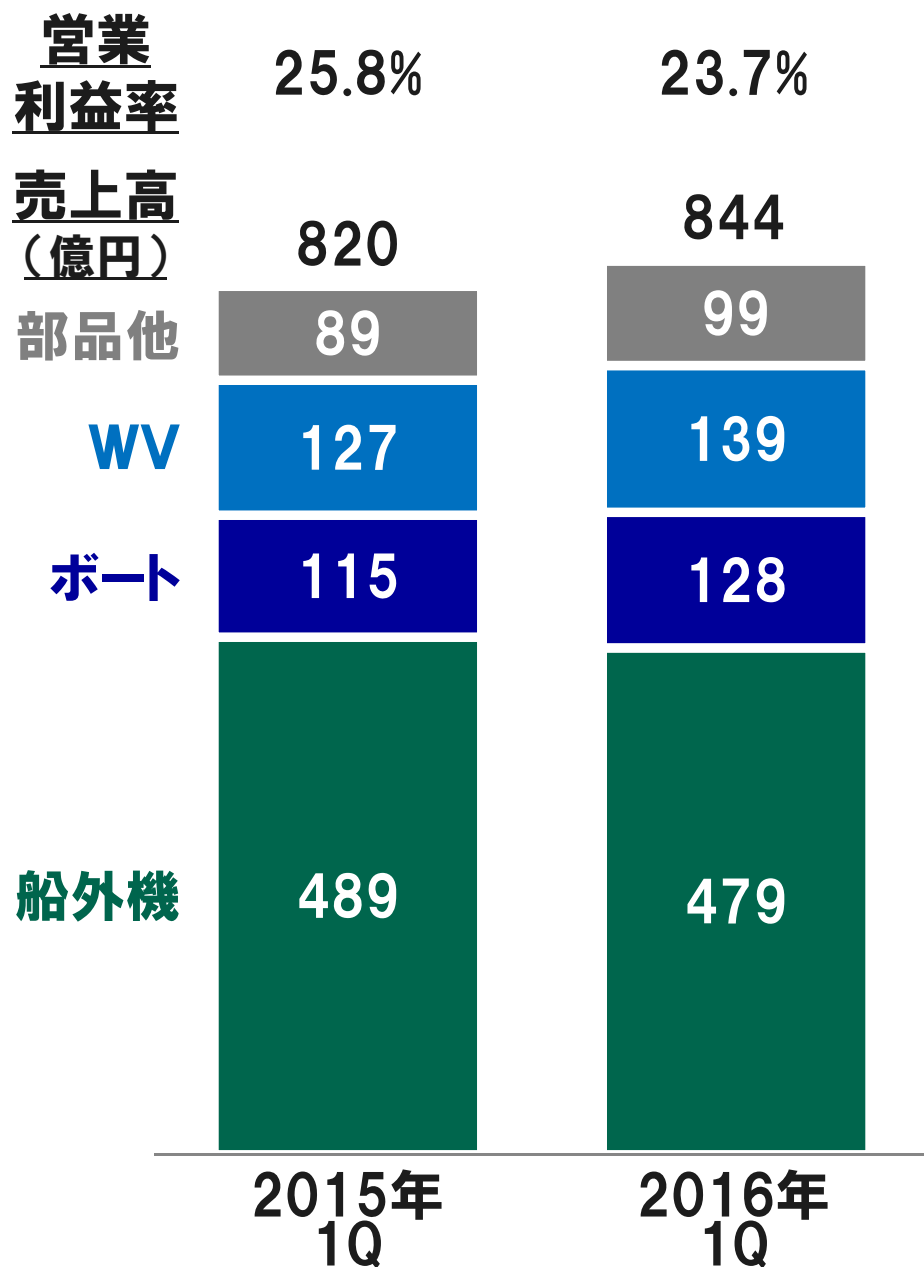
Tracer 700  
(2016年7月予定)



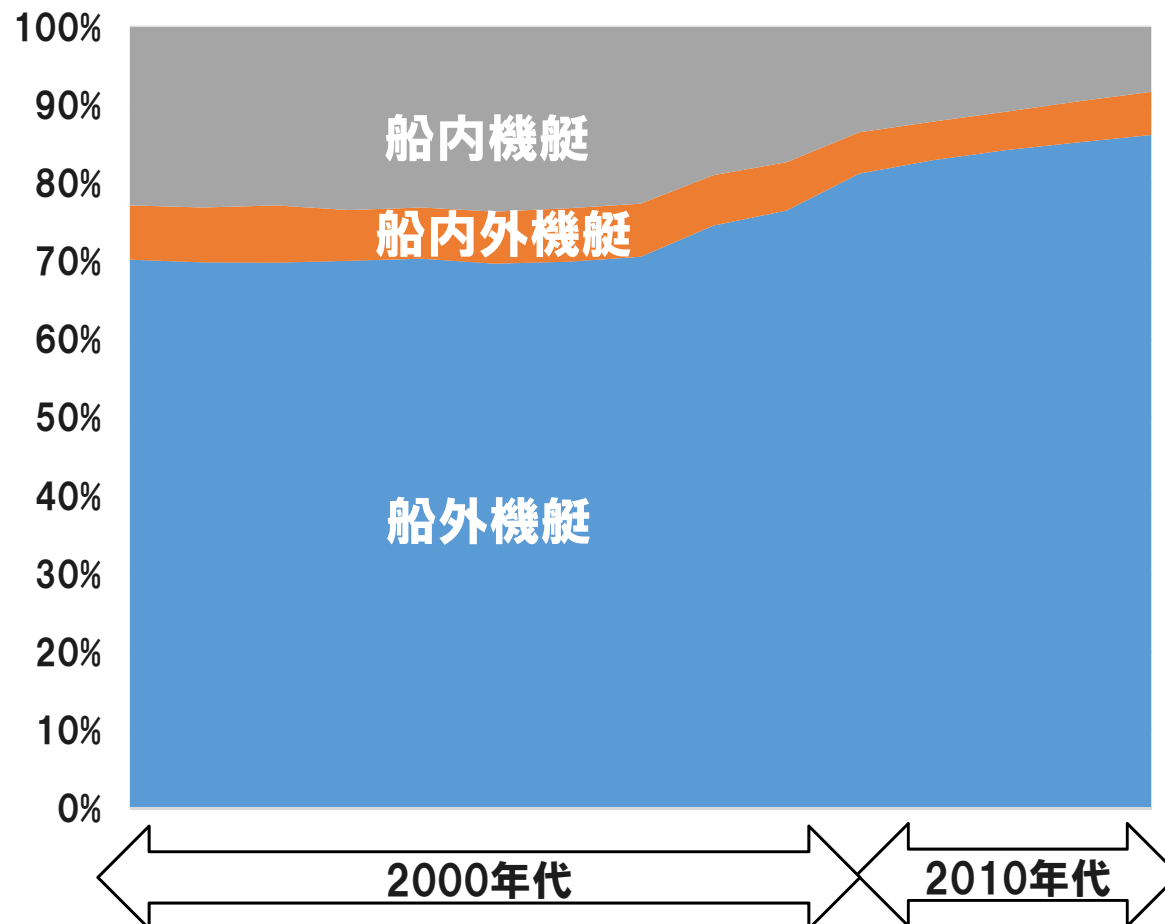
MT-10  
(2016年5月)



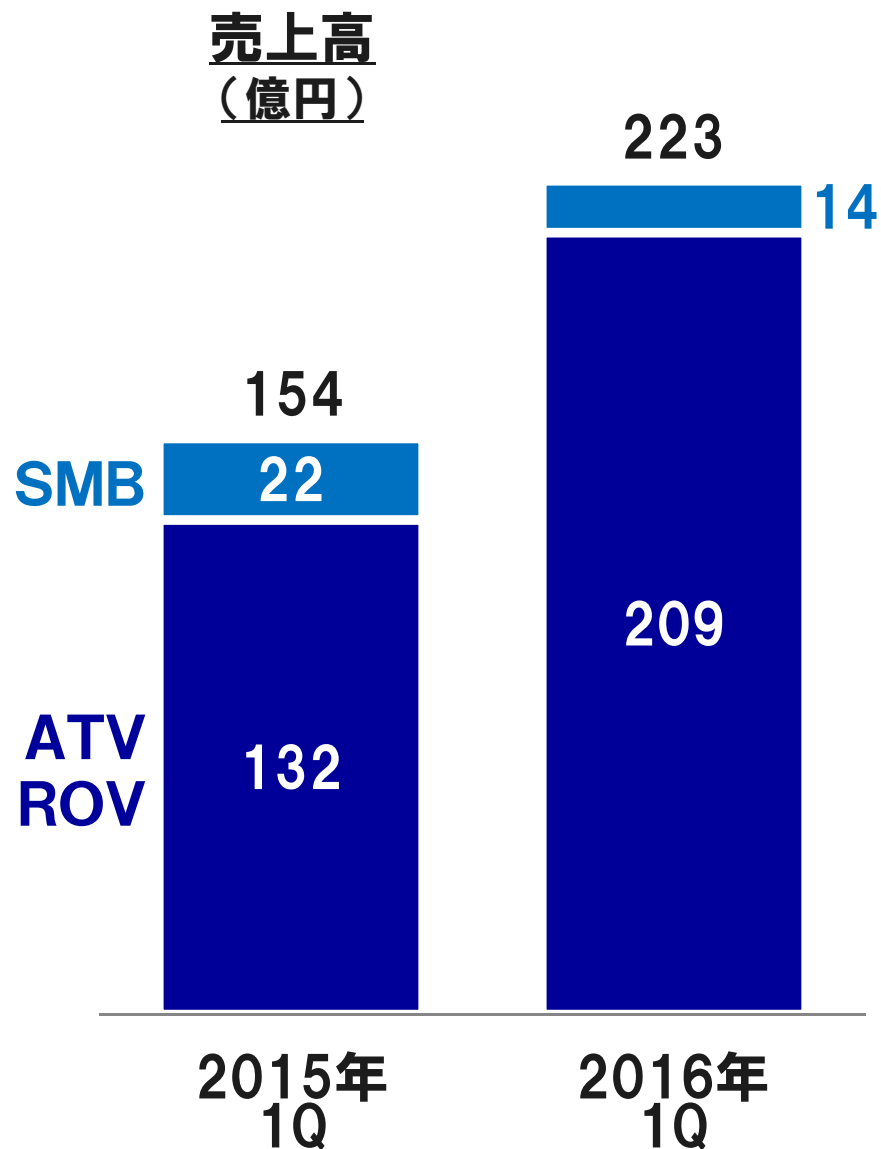
- 1Q: 北米・欧州で、市場活性が続いて好調な販売続く。
- 2Q以降: エンジン大型化などにより、売上拡大を図る。



北米 舟艇種類別 構成比率  
船外機の高性能化による船外機艇の大型化



- 1Q: 商品ラインナップ拡充により、増収・増益となる。
- 2Q以降: 新商品投入を進め、売上拡大を図る。



VIKING (2013年)

マルチパーパス



Wolverine (2015年)

レクリエーショナル



VIKING VI (2014年)

マルチパーパス



YXZ1000R (2015年)

ピュアスポーツ



**YAMAHA**

*Revs Your Heart*

# 事業別 売上高・営業利益（1Q）

## 売上高（億円）

	1Q		対前年
	15年実績	16年実績	
二輪車	2,479	2,298	△181
マリン	820	844	24
特機	314	383	69
その他	284	305	21
<b>合計</b>	<b>3,897</b>	<b>3,829</b>	<b>△68</b>

## 営業利益（億円）

二輪車	116	76	△40
マリン	211	200	△11
特機	14	19	5
その他	25	28	3
<b>合計</b>	<b>366</b>	<b>323</b>	<b>△43</b>

## 営業利益率（%）

二輪車	4.7	3.3	△1.4
マリン	25.8	23.7	△2.1
特機	4.4	5.0	0.6
その他	8.7	9.1	0.5
<b>合計</b>	<b>9.4</b>	<b>8.4</b>	<b>△1.0</b>

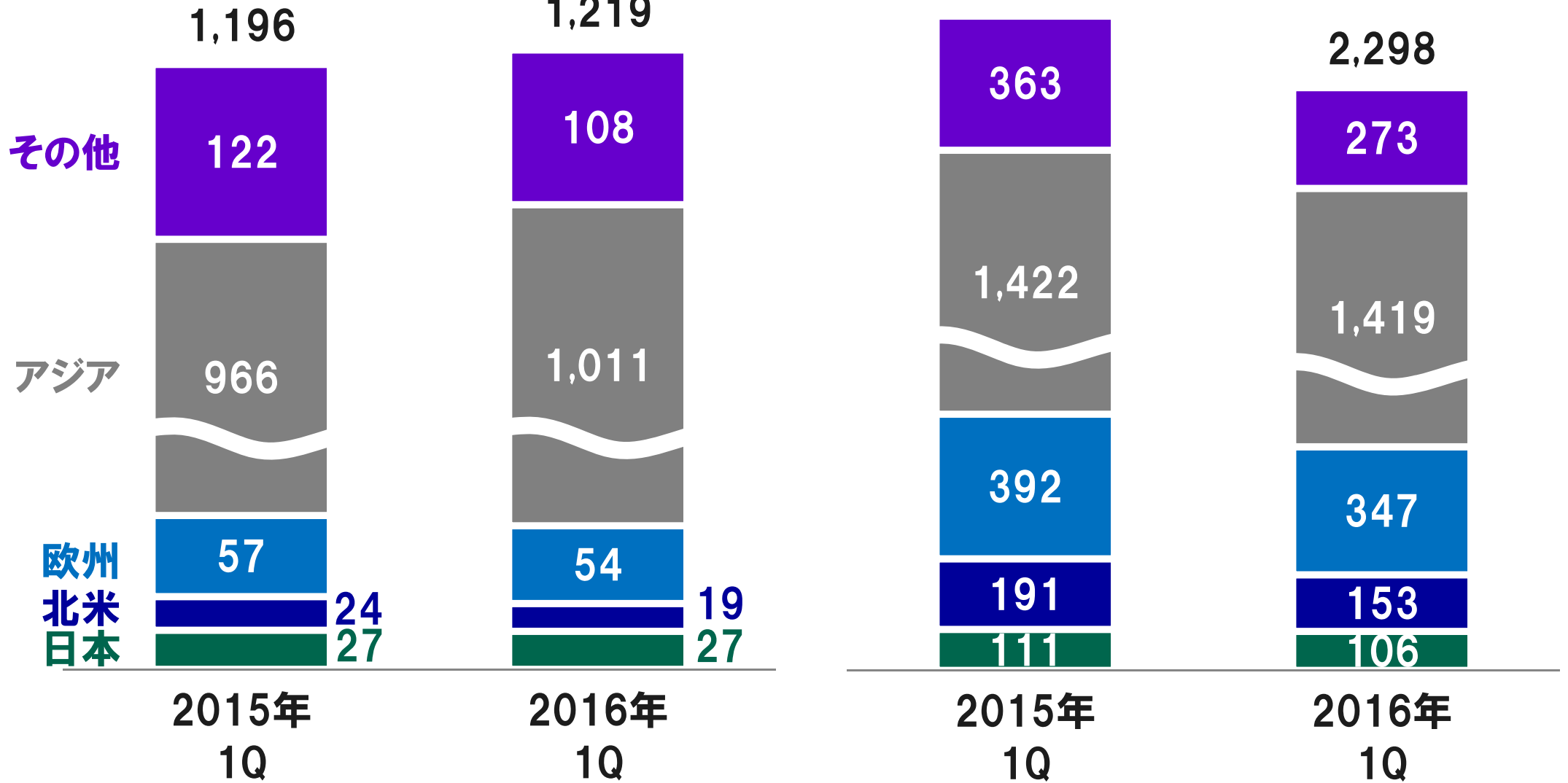
※ 前年：販売金融関連 収益・費用組替え後

# 二輪車販売台数・売上高（1Q）



**出荷台数**  
(千台)

**売上高**  
(億円)



(\$/€) (119/134)

(115/127)

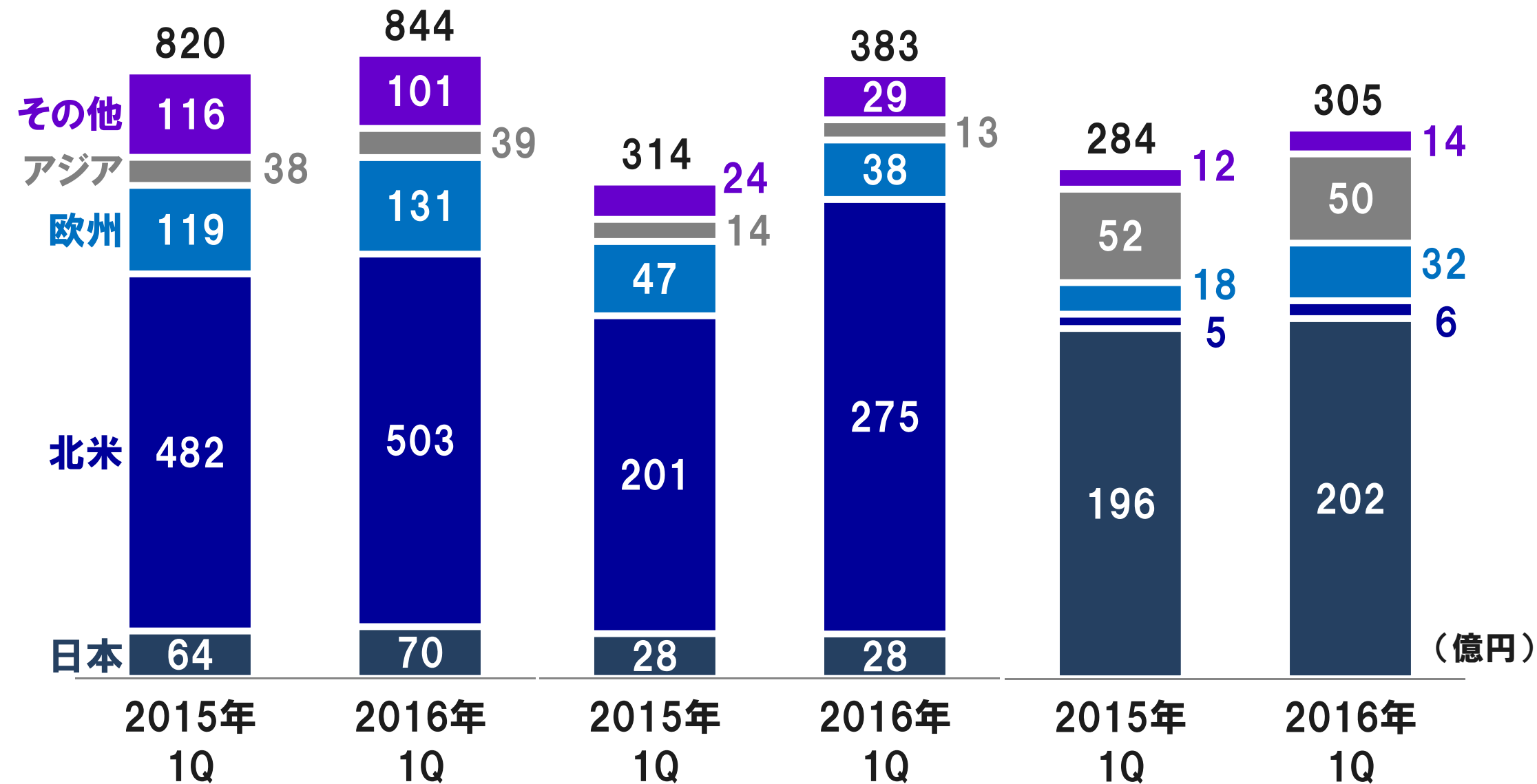
# マリン・特機・その他 売上高 (1Q)



## マリン

## 特機

## その他



(\$/€)(119/134) (115/127)

※ その他: 産業用機械・ロボット含む

# 為替影響（対前年）

	1Q（3ヶ月）			
	US\$	EURO	その他	合計
（億円）				
本社の輸出入にかかる為替影響	△14	△15	△1	△30
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	△39	△39
粗利益の換算影響（海外子会社）	△7	△6	△47	△60
販管費の換算影響（海外子会社）	4	4	35	44
営業利益への為替影響	△17	△17	△52	△85

## 為替感応度

1円の変動が営業利益  
に与える影響額

US\$	EURO
4億円	2億円

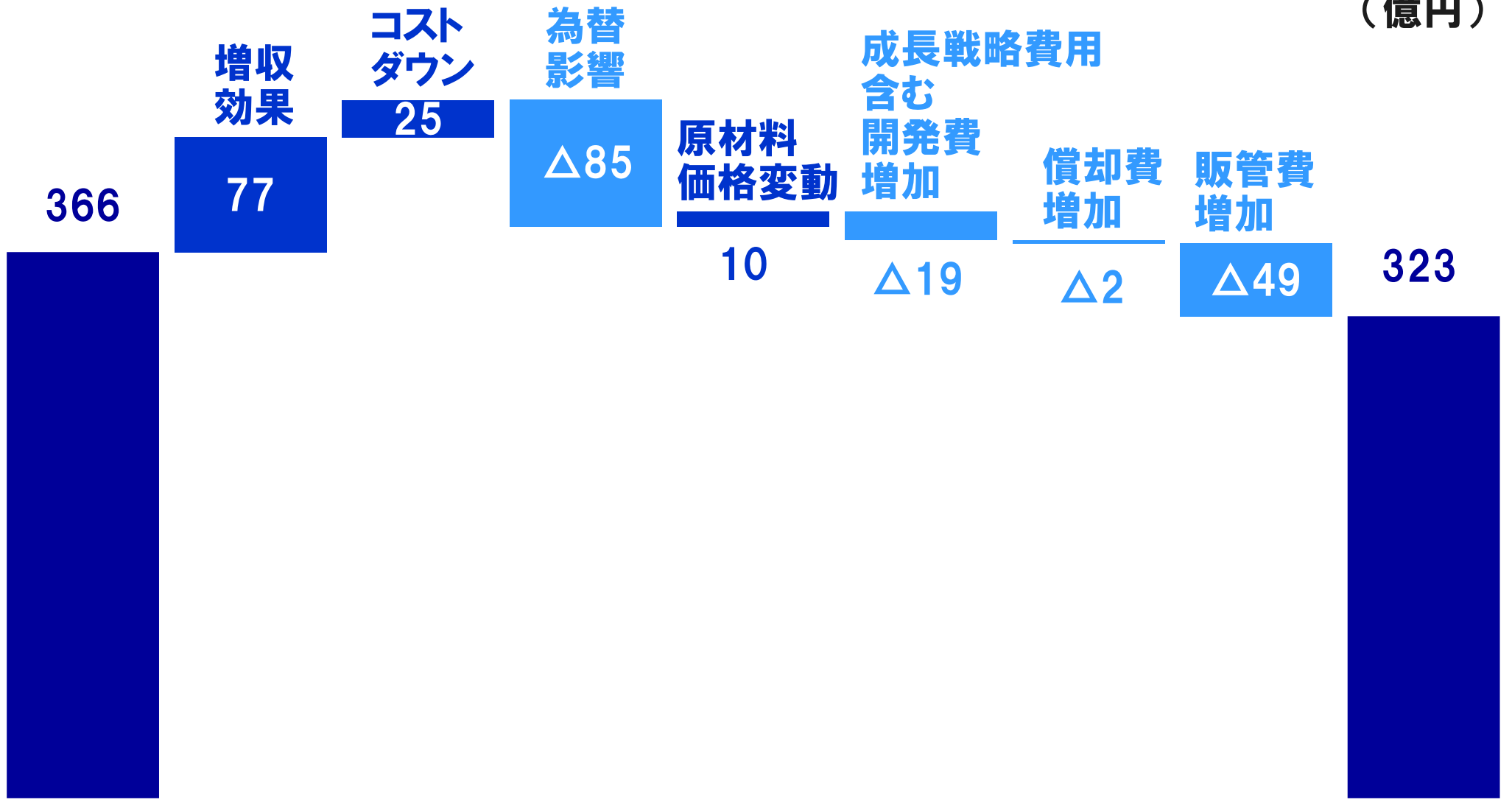
(億円)

	15年1Q 実績	16年1Q 実績
<b>設備投資</b>	<b>142</b>	<b>110</b>
<b>減価償却費</b>	<b>106</b>	<b>108</b>
<b>研究開発費</b>	<b>216</b>	<b>224</b>
<b>有利子負債</b>	<b>4,314</b>	<b>4,284</b>
<b>(うち販売金融分)</b>	<b>2,141</b>	<b>2,252</b>



# 営業利益変動要因（1Q）

（億円）



2015年

2016年

(\$/€: 119/134)

(115/127)